

主催 株式会社日本総合研究所

後援 農林水産省

シンポジウム

「割り箸」リサイクルから考える循環型社会の共創

～企業と地域住民の協働システムのデザイン～

待ったなしの地球温暖化問題。

地球温暖化は本年 7 月に開催される G8 主要国首脳会議
(北海道洞爺湖サミット)の最重要テーマの一つでもあります。

私たちの日常生活の中で身近なアイテムである「割り箸」は、リサイクル適正が高く、重要なバイオマス資源であり、地球温暖化防止に資する再生エネルギーとしても期待されています。

本シンポジウムでは、実際に「割り箸」のリサイクルを展開している企業や NPO から実例を紹介していただき、「割り箸」の収集、再利用に向けた取組への支援や、消費者の分別排出への意識の促進へ向けた取組の在り方について、幅広く議論を行います。また、「割り箸」をキーワードとした環境問題に、企業、NPO、消費者が地域においていかなる協働を実現することができるのかを、議論していきたいと思います。

環境問題のみならず地域づくりに幅広くご関心をお持ちの皆様のご参加を、お待ちしております。

開催日 2008 年 6 月 26 日(木)

入場料 無料

開催時間 12 時 30 分 受付開始
13 時 開 演

開催場所 北海道自治労会館 3F 中ホール
札幌市北区北 6 条西 7 丁目
◎ JR 札幌駅・西出口より徒歩 5～6 分
◎ 地下鉄南北線・さっぽろ駅徒歩 7 分



第1部 講演

- 基調講演 「割り箸が地域と地球を救う」
佐藤 敬一氏 東京農工大学農学部 准教授・特定非営利活動法人 JUON(樹恩)NETWORK 割り箸担当理事
- 特別講演1 「できることから始めよう！安全な竹割り箸と使用後の炭化リサイクル、そして土へ」
高橋 順氏 株式会社 福しん 代表取締役社長
松尾 康志氏 楽しい株式会社 代表取締役
- 特別講演2 (仮)「割り箸リサイクル活動の現状と今後」
村田 公恵氏 千歳消費者協会理事

第2部 パネルディスカッション

「割り箸」がもたらす地域環境へのインパクト

《パネリスト》

- 佐藤 敬一氏 東京農工大学農学部 准教授・特定非営利活動法人 JUON(樹恩)NETWORK 割り箸担当理事
江尻 京子氏 ごみ問題ジャーナリスト・多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター長
松尾 康志氏 楽しい株式会社 代表取締役
村田 公恵氏 千歳消費者協会理事
吉田 賢一(コーディネーター) 株式会社日本総合研究所 総合研究部門 地球産業政策・技術経営戦略クラスター長／主任研究員

お問い合わせ

株式会社 日本総合研究所 〒102-0082 東京都千代田区一番町 16 番
TEL 03-3288-4789 FAX 03-3288-6349 e-mail waribashi-recycle@rcdjri.co.jp
URL <http://www.jri.co.jp/>